

1. 現在のルール

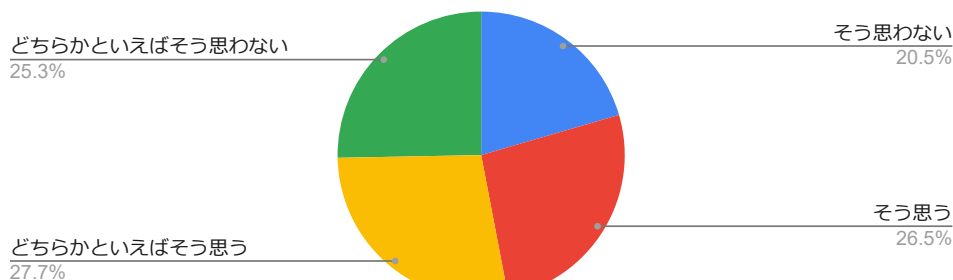
・靴下は黒色または紺色で、くるぶしが隠れる長さのものにしましょう。

2. このルールができた背景

学校全体として、制服の統一性を生むことができる。  
大人の人たちがスラックス着用する際のマナーに準じている。(中学生にとって、制服は大人のスーツと同じ扱い)

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果(生徒)

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦オールときは、制限しない。</li> <li>・靴下は特に見える部分ではないので、靴下の長さが短いとマナー違反になる理由がわからない。</li> <li>・ワンポイントなどのルールが少しあいまいで、統一感を出すことが目的であれば学校で指定したものを販売すべきだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を認めることを目的とした錦オールがあるから、それ以外の日は制服を着用する際は、そのマナーに則った方がいい</li> <li>・靴下がカラフルな色だと礼儀が悪く見え、制服にあわない統一性がないので、このままでもいい</li> <li>・制服を着ている時は、靴下の長さを守った上で初めて正装といえると思うし、社会に出た時に当たり前で認知されているマナーを学ぶ一環として校則がある</li> </ul>

5. プロジェクトチーム(生徒)からの提案。

現在のルール

・靴下は黒色または紺色で、くるぶしが隠れる長さのものにしましょう。



提案

靴下は、基本無地のものとし、色の指定はしない。  
柄については、ワンポイントのものなら可とする。

## 【項目②防寒着の着用】についての提案書

R6.1.31

### 1. 現在のルール

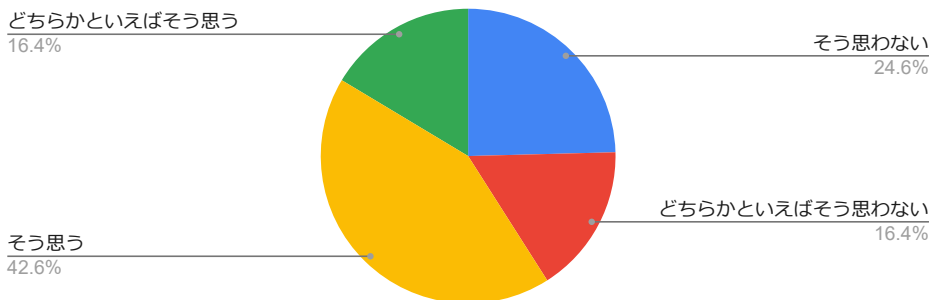
- ・体温調節のために防寒着（ウィンドブレーカーやフリース等）をブレザーの上から着て、授業を受けても構いません。ただし、マフラーやネックウォーマー、手袋は認めません。
- ・ブレザーの中に着るセーター、ベスト類は紺、黒、灰、白、茶色とします。袖口や裾は、ブレザーからはみ出さないようにします。
- ・ブレザーを脱いで、セーターだけで過ごすことがないようにしましょう。暑い時は、中に着ているセーターを脱ぎましょう。（授業中に一時的に体温調節をする場合は除きます。）

### 2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・制服の着こなしとして、ブレザーを脱いでセーターだけを着るのはおかしい。
- ・学校として統一感を出すため。
- ・あくまでも体温調整のためのセーターだから。

### 3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

#### 「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



### 4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・制服を買う際に一緒に買ったセーターなどは前にボタンがないため、着脱が難しく、ブレザーを着脱しての体温調節のほうが体調管理が楽になると思う</li><li>・防寒着をワイシャツの上に着てはいけな理由がよくわからない。ブレザーだと暑いし、ワイシャツだけだと寒いときに体温調節が難しいから。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ブレザーの着用が基本であり、ブレザーの必要性が薄まるから。</li><li>・一般的なマナーに則って正しく制服を着用するため。</li></ul>

### 5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

#### 現在のルール

- ・体温調節のために防寒着（ウィンドブレーカーやフリース等）をブレザーの上から着て、授業を受けても構いません。ただし、マフラーやネックウォーマー、手袋は認めません。
- ・ブレザーの中に着るセーター、ベスト類は紺、黒、灰、白、茶色とします。袖口や裾は、ブレザーからはみ出さないようにします。
- ・ブレザーを脱いで、セーターだけで過ごすことがないようにしましょう。暑い時は、中に着ているセーターを脱ぎましょう。（授業中に一時的に体温調節をする場合は除きます。）



#### 提案

- ・体温調節のために防寒着（ウィンドブレーカーやフリース等）を着て、授業を受けても構いません。ただし、マフラーやネックウォーマー、手袋は認めません。
- ・セーター、ベスト類は紺、黒、灰、白、茶色とします。袖口や裾はブレザーからはみ出さないようにします。

## 【項目③インナーシャツ】についての提案書

R6.1.31

### 1. 現在のルール

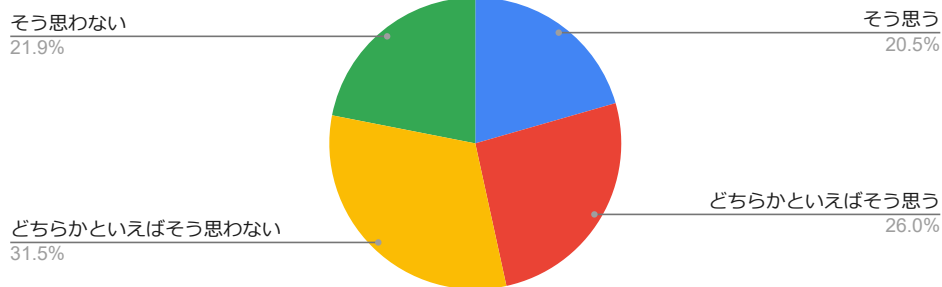
- ・ワイシャツやブラウスの下に着るシャツは、学校指定の半袖体育着または白色の肌着を基本とします。
- ・冬場のアンダーシャツは襟元から上に見えないものにしましょう。(ハイネック・タートルネックは×)

### 2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・ハイネックのものは動く際に首が締まる危険がある。
- ・赤などの蛍光色のものは、ワイシャツから透けて目立つため、周囲から良い印象をもたれない。

### 3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



### 4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・黒色や色が薄い色ならば悪い印象を与えないのではないか。</li><li>・気をつけて生活することで、ハイネックであっても安全に生活できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・体育の時に危険がある。</li><li>・派手な色の場合、周りに悪い印象を与える。</li><li>・襟元からインナーシャツが見えると気が散ってしまう。</li></ul>

### 5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

#### 現在のルール

- ・ワイシャツやブラウスの下に着るシャツは、学校指定の半袖体育着または白色の肌着を基本とします。
- ・冬場のアンダーシャツは襟元から上に見えないものにしましょう。(ハイネック・タートルネックは×)



#### 提案

- ・ワイシャツやブラウスの下に着るシャツの色は黒、紺、白を基本とします。
- ・アンダーシャツは襟元から見えないものにしましょう。(ハイネック、タートルネックは×)

## 【項目④スカート丈】についての提案書

R6.1.31

### 1. 現在のルール

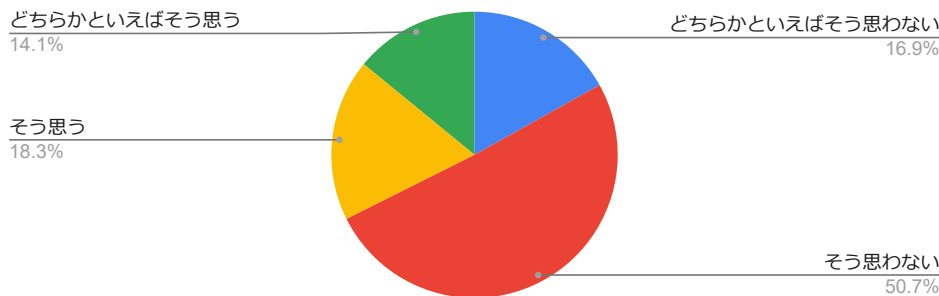
- ・スカートやズボンを正しく着用しましょう。  
(スカート丈は立ち膝で床につく程度、ズボンのベルトは腰骨の上にしましょう。)

### 2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・スカート丈が短いと学校全体の風紀が乱れるから
- ・制服の着用は、正装の身だしなみを学ぶためだから（長くても短くてもX）
- ・集団としての統一感をもつため

### 3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

#### 「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



### 4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・スカートを短くしたほうが、スタイルがよく見えて自信が持てる ⇒制服の着こなしもある程度は「個人の表現の自由」として尊重すべき</li><li>・スカートの丈が短くても他の人に迷惑がかからない</li><li>・なぜ現行の基準（立膝で床につく程度）がよいとされているのか根拠があいまい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・現行のルールでも困っている人が少ない</li><li>・スカート丈の長さをルールで規定しないと統一感が薄れ、学校の風紀が乱れる</li><li>・スカートの丈を短くしすぎると、痴漢にあう可能性がある</li><li>・スカートの丈を短くしすぎると、周りの人が気になる（目のやり場に困る）</li></ul>

### 5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

#### 現在のルール

- ・スカートやズボンを正しく着用しましょう。  
(スカート丈は立ち膝で床につく程度、ズボンのベルトは腰骨の上にしましょう。)



#### 提案

- ・スカートやズボンを正しく着用しましょう。  
(スカートの長さを調整したい場合には1回まで巻くことは認める。ズボンのベルトは腰骨の上にする。)

## 【項目⑤長髪は結ぶ】についての提案書

R6.1.31

### 1. 現在のルール

- ・髪が肩より長い場合は、ゴム・ヘアピン（黒・茶・紺系）でとめましょう。

### 2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・結んでいないと他の人の目に入ってしまったたり、当たってしまったたりして危ないから
- ・結んでいた方が清潔感を保てるから

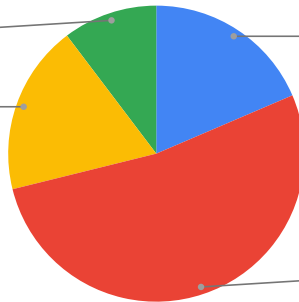
### 3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

#### 「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数

どちらかといえばそう思わない  
10.3%

どちらかといえばそう思う  
18.6%

そう思わない  
18.6%



そう思う  
52.6%

### 4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・結ばなければいけない場面を条件として設定し、その他の時間は結ばなくても良いのではないか</li><li>・髪型の自由も個性であり、尊重すべき</li><li>・錦オールで服装の自由が認められているように、制服着用時においても髪型の自由も認められるべき</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・結んでいないと危ない場面もあるから（体育や理科の実験などの場面）</li><li>・清潔感を保てないから</li></ul>

### 5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

#### 現在のルール

- ・髪が肩より長い場合は、ゴム・ヘアピン（黒・茶・紺系）でとめましょう。



#### 提案

特定の場面（給食の配膳当番・各教科担当の教員の指示）を除いて結ばなくても良い

1. 現在のルール

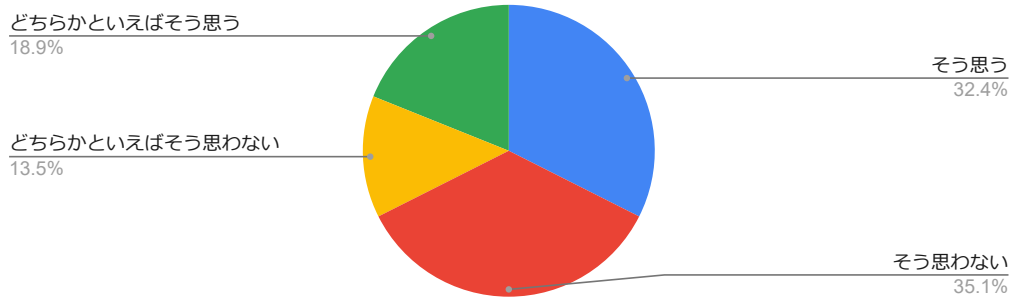
・髪が肩より長い場合は、ゴム・ヘアピン（黒・茶・紺系）でとめましょう。

2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

・落ち着いて授業を受けられるようにするため  
 ・おろしたときに髪の毛が他人の目に入るかもしれないから

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアゴム・ヘアアクセサリで個性が出せる</li> <li>・登校するモチベーションが向上する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒全体で統一感があつた方がよいから</li> <li>・正装着用時のマナーとして、派手なものだと相応しくない</li> </ul>

5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

現在のルール

・髪が肩より長い場合は、ゴム・ヘアピン（黒・茶・紺系）でとめましょう。



提案

・髪をとめる場合は、ゴム・ヘアピン・シュシュ（黒・茶・紺系）でとめましょう。  
 ・錦オールの日ヘアゴム・ヘアアクセサリに関しては、学校生活を送る上で支障ない範囲で自由とします。

## 【項目⑦整髪料】についての提案書

R6.1.31

### 1. 現在のルール

現在校則には明記していません。（明記はしていませんが、指導はしていました。）  
次年度以降、校則に明記したいと思います。  
整髪料の使用を認めるか、禁止とするか、これを機に改めて検討しましょう。

### 2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・学校生活で整髪料を使って髪を整える必要がないため。
- ・髪型が派手になることで、トラブルに巻き込まれるかもしれない。
- ・整髪料の匂いが苦手な人がいる。

### 3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

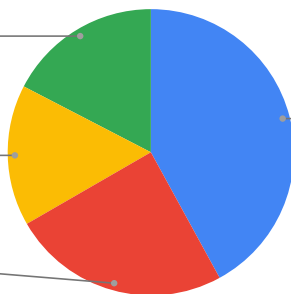
#### カウント

4. そう思わない  
17.4%

3. どちらかといえばそう思わない  
15.9%

2. どちらかといえばそう思う  
24.6%

1. そう思う  
42.0%



### 4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"><li>・身だしなみを整える手段として、整髪料の使用は特段制限しなくても良い。</li><li>・整髪料の使用によって、勉強に集中できなくなるなどの影響はない。</li></ul> <p>使用を認める条件</p> <p>①整髪料の種類：匂いのないもの。 ②使用用途：身だしなみを整える程度。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・整髪料のにおいが苦手な人がいる。</li><li>・整髪料がなくても学校生活を送る上で支障がない。</li></ul>

### 5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

#### 現在のルール

現在校則には明記していません。（明記はしていませんが、指導はしていました。）  
次年度以降、校則に明記したいと思います。  
整髪料の使用を認めるか、禁止とするか、これを機に改めて検討しましょう。



#### 提案

・整髪料の使用は身だしなみを整える範囲で認めます。ただし、無香料のものを使用するなど、周囲への配慮が必要です。

1. 現在のルール

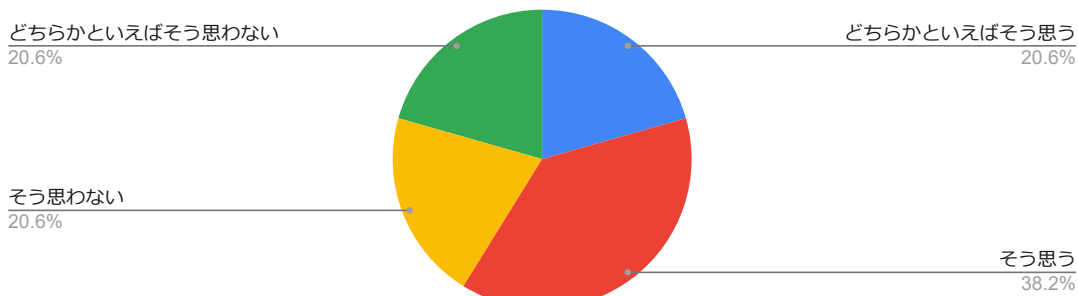
- ・髪の染色，パーマなどは原則禁止です

2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・学校としての統一感を出すため
- ・自分も周りの人も落ち着いて授業に集中できるようにするため
- ・日本の社会では、職場などで華やかな服装や髪の染色の制限を求められることが多いから。

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を尊重するために髪型や髪色は自分で判断すればいい。</li> <li>・暗めの色(黒または茶など、髪色のトーンを指定)であれば、一緒に授業を受ける周囲の生徒に与える影響が少ないと思われる。</li> <li>・容姿(髪型・髪色)で偏見を持つのは良くないし、人種差別にも繋がる。近年社会人でも髪色を染めてもいい職場が増えている。</li> <li>・小学校や大学、社会人は髪型・髪色に関する制限がなく、高校は染色可の学校もある。(選択の自由がある)中学校だけ、一律で強制的に染色不可な理由を説明できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・髪色を染めずに髪型で個性を出すこともできるため、染色の必要はない。</li> <li>・他学校からのイメージが悪くなるかも。</li> <li>・パーマによって髪が広がって邪魔になるかも。</li> <li>・清潔感がなくなってしまう恐れがある。</li> </ul>

5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

現在のルール

- ・髪の染色，パーマなどは原則禁止です



提案

- ・髪の染色は指定の範囲内(暗めの色)であれば許可する。
- ・パーマなどの髪型は他人への迷惑がかかる場合があるため、原則禁止とする。



1. 現在のルール

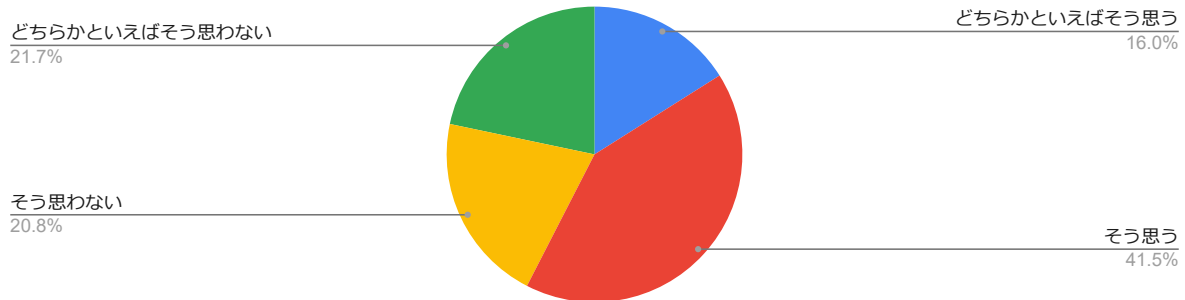
(2) 割りばしの使用は原則禁止  
 ・はしを忘れた場合は学年先生に申し出て、割りばしを借りましょう。  
 (翌日に新しい割りばしを持ってきて返却しましょう。)

2. このルールができた背景 (各クラスで話し合った内容)

- ・割り箸のゴミを増やさないように (減らす) するため。
- ・割り箸による怪我防止
- ・箸を忘れないようにするため ・生徒間の貸し借りによるトラブル防止

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果 (生徒)

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れ物防止のためにカバンに入れておくべき</li> <li>・自分で割り箸を持ってきても特に害はない</li> <li>・箸を持ってこなかったときに便利だから</li> <li>・使ったあとゴミ箱にゴミを捨てないような校則を作れば持ってきても大丈夫だと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒間でのトラブルを防止するために、現状の校則を維持した方が良い</li> <li>・ゴミが増えるのを防止するため</li> <li>・借りるくせをつけるため</li> <li>・箸を洗う習慣をつけるようにした方が良い</li> <li>・借りても返せば良いからわざわざ自分の家から持ってくる必要がない</li> </ul>

5. プロジェクトチーム (生徒) からの提案。

現在のルール

(2) 割りばしの使用は原則禁止  
 ・はしを忘れた場合は学年先生に申し出て、割りばしを借りましょう。  
 (翌日に新しい割りばしを持ってきて返却しましょう。)



提案

- ・普通の箸 (マイ箸) の使用を基本としますが、忘れた場合の割り箸の持ち込み・使用を認めます。
- ・普通の箸 (マイ箸) も、割り箸も忘れた場合は先生に借りましょう。また、借りた場合は後日、新しい物を先生に返しましょう。
- ・学校のゴミを削減するため、使った割り箸は持ち帰りましょう。
- ・生徒間の割り箸の貸し借りは禁止とします。

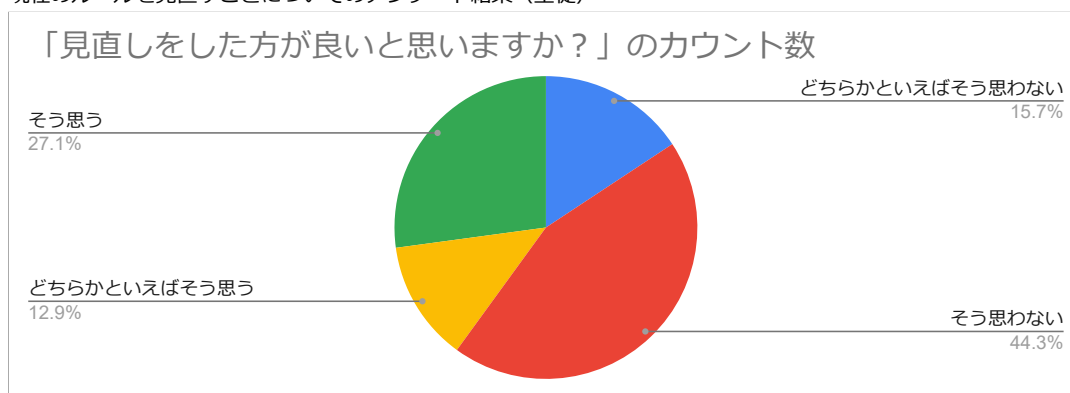
1. 現在のルール

(1) 校内生活に不必要なものは持込禁止  
 例) スマートフォン, CD, 漫画本, 雑誌類など。(担当や顧問の先生に許可された場合は除きます。CDについては, 放送委員が使用する場合は可。)  
 ・プライベートで友人から借りたものを返すために持ってくることも禁止です。

2. このルールができた背景 (各クラスで話し合った内容)

- ・本業である「学習」の妨げになる恐れがあるため
- ・貸し借りなどによりトラブルが起こる恐れがあるため
- ・学習と関係のないものであるため

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果 (生徒)



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の小説の制限がないのに、漫画だけ制限されている根拠がない</li> <li>・図書室でも一部漫画が認められているため、個人の漫画を認めてもよいと思う</li> <li>・コミュニケーションが苦手な人も、休み時間に余暇として快適な時間を過ごすことができるし、漫画をきっかけにコミュニケーションが取れる。</li> <li>・貸し借り無しというルールで不要なトラブルは防止できる</li> <li>・漫画を持ってきてても他の人には迷惑がかからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に読むと友達との会話の時間が減ってしまう</li> <li>・小説は学習に関係があるが、漫画は学習に関係ない</li> <li>・漫画の貸し借りでトラブルが起こる可能性がある</li> <li>・ルールを設定しても、授業の妨げになる恐れがある</li> </ul>

5. プロジェクトチーム (生徒) からの提案。

現在のルール

(1) 校内生活に不必要なものは持込禁止  
 例) スマートフォン, CD, 漫画本, 雑誌類など。(担当や顧問の先生に許可された場合は除きます。CDについては, 放送委員が使用する場合は可。)  
 ・プライベートで友人から借りたものを返すために持ってくることも禁止です。



提案

- ・条件付きで漫画本、雑誌類の持込を認める。  
 ※条件：①冊数の制限・貸し借り禁止 (紛失または破損等のトラブル防止) ②休み時間のみ (授業の妨げとならないようにするため)
- ※現行のままの方がよいのではという意見もありました。提案書Ⅰの段階では、結論は保留になっています。

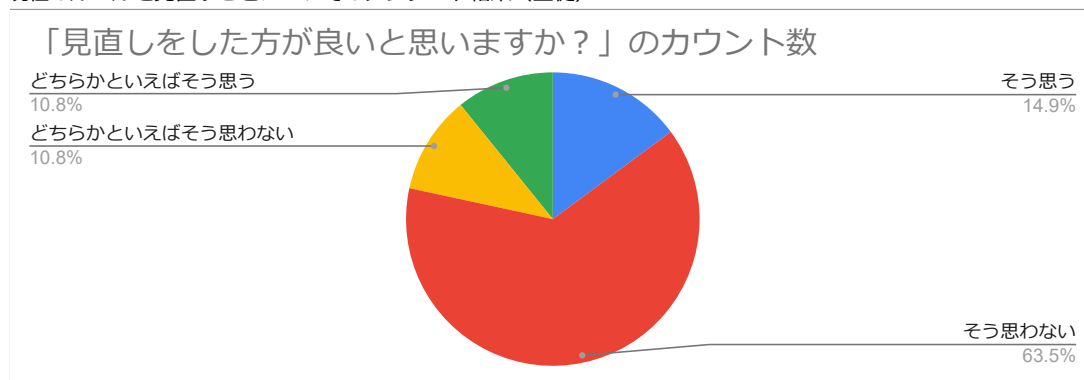
1. 現在のルール

(1) 校内生活に不必要なものは持込禁止  
 例) スマートフォン, CD, 漫画本, 雑誌類など。(担当や顧問の先生に許可された場合は除きます。CDについては, 放送委員が使用する場合は可。)  
 ・プライベートで友人から借りたものを返すために持ってくることも禁止です。

2. このルールができた背景 (各クラスで話し合った内容)

- ・スマホ、漫画などを持っていくと授業に集中できなくなる
- ・インターネットのトラブルを防ぐため
- ・LINEなどのアプリを通じて、いじめがエスカレートする可能性がある

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果 (生徒)



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害などの緊急時に必要</li> <li>・授業中は先生が管理すれば良い</li> <li>・写真を撮るなど思い出をつくりたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもクロームブックのルールが守れていないから、スマホの持込を条件(ルール)付で認めてもルールが守れないと思う →クロームブックでゲームをする人がいる。</li> <li>・調べごととはクロームブックで調べた方がいい</li> <li>・不要物の持込により授業に集中できなくなる</li> <li>・SNSのトラブルを防ぐため</li> </ul>

5. プロジェクトチーム (生徒) からの提案。

現在のルール

(1) 校内生活に不必要なものは持込禁止  
 例) スマートフォン, CD, 漫画本, 雑誌類など。(担当や顧問の先生に許可された場合は除きます。CDについては, 放送委員が使用する場合は可。)  
 ・プライベートで友人から借りたものを返すために持ってくることも禁止です。



提案

(1) 現行のまま  
 ・休日の部活動では, 顧問の先生に許可された場合, 持ち込み可能とします。  
 ・スマートフォンの利用は, 保護者へ連絡をする時のみとし, 部活動中は顧問の先生にスマートフォンを預けましょう。

1. 現在のルール

(4) 登校時の服装について

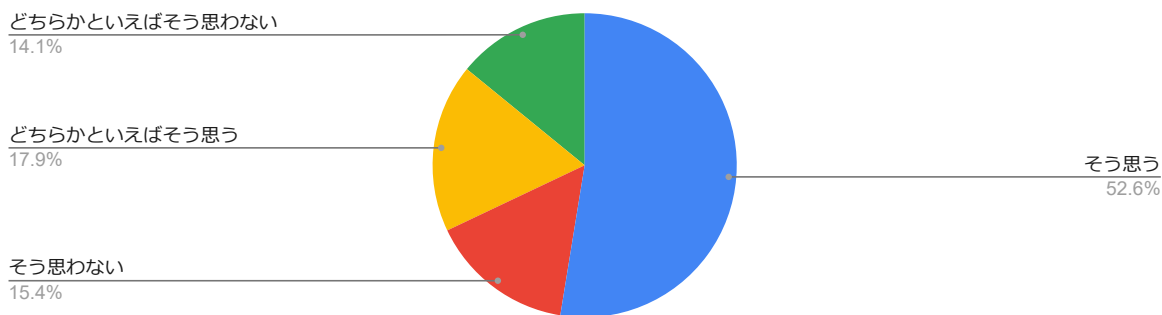
- ・登校時は制服を基本とします。ただし、夏季期間は、熱中症対策のため、体育着での登校を学校から許可することがあります。部活動で朝練習がある場合は体育着登校でも構いませんが、練習後は朝の会までに制服に着替えましょう。
- ・給食終了後（昼休み）に放課後の掃除に備え、体育着に着替えます。5校時以降は基本的に体育着で授業を受けることになります。
- ・午前中に体育着に着替える授業がある場合は直前の休み時間で着替え、その後は体育着で過ごすことになります。

2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・制服の着用は、集団の一員である意識を持たせ、学校として統一感持つためである。
- ・学生として、将来社会に出た際に求められる「正装の身だしなみ」について学ぶ機会でもある。

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）

「見直しをした方が良いと思いますか？」のカウント数



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間目に着替える日に、わざわざ制服で登校するのは合理的ではない</li> <li>・ジャージや制服に加えて、部活の用意も毎日持って登下校するため、少しでも荷物を減らしたい</li> <li>・冬季にスカートが寒く、タイトの着用が認められているとはいえ、体温調節が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服着用の意義（学校としての統一感・マナー力の向上）が損なわれる</li> <li>・せっかく購入したのに制服を着る機会が減ってしまう</li> <li>・多様性を認める機会として、錦オールが週1回設けられているから、その他の日については現行のままでよい</li> </ul>

5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

現在のルール

(4) 登校時の服装について

- ・登校時は制服を基本とします。ただし、夏季期間は、熱中症対策のため、体育着での登校を学校から許可することがあります。部活動で朝練習がある場合は体育着登校でも構いませんが、練習後は朝の会までに制服に着替えましょう。
- ・給食終了後（昼休み）に放課後の掃除に備え、体育着に着替えます。5校時以降は基本的に体育着で授業を受けることになります。
- ・午前中に体育着に着替える授業がある場合は直前の休み時間で着替え、その後は体育着で過ごすことになります。



提案

現在のルールに加えて、「1,2校時にジャージ着用の必要がある場合（実技教科など）にはジャージ登校を認める（ただし、式は制服で参加する）」

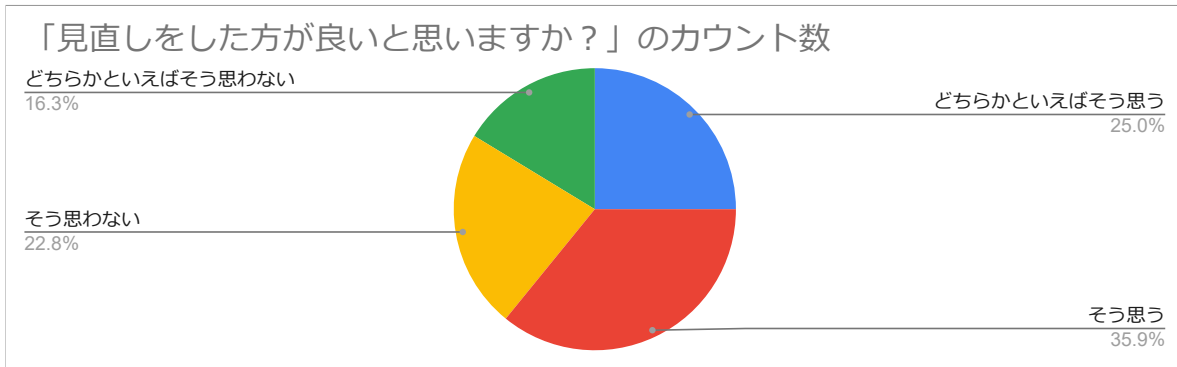
1. 現在のルール

6 錦オールの日について  
 (1) 錦オールの日には服装の自由によってお互いの個性を認め合うことを目的としています。制服・体育着・私服から自分で判断し、服装を選択しましょう。  
 (2) 私服の際には学校生活を送る上で支障のない範囲にしましょう。  
 (3) 錦オールは服装を選択することができる日です。髪やアクセサリ類については普段の学校生活と同様とします

2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・その日に合わせた服装を、自分自身で考えるため
- ・お互いの個性を認め合うため
- ・服装を通して、互いを認めあうため

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装を自由にする事で、より個性を認め合うことができるようになるから</li> <li>・錦オールを増やすことで、もっと自分の個性を發揮し、お互いの個性を認め合いたいから</li> <li>・制服ではなく、私服で個性を發揮できるようにしたいから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服を着ることで、学校の一員であることを自覚し、ルールやマナーを守れるような人になるため。</li> <li>・すべてを自由になると、トラブルが起きる可能性があるから。</li> <li>・制服を買ったのに、着る機会が少なくなるともったいない。</li> <li>・錦オールを増やしすぎるとTPOにあった服を着れなくなってしまから。</li> </ul>

5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

現在のルール

6 錦オールの日について  
 (1) 錦オールの日には服装の自由によってお互いの個性を認め合うことを目的としています。制服・体育着・私服から自分で判断し、服装を選択しましょう。  
 (2) 私服の際には学校生活を送る上で支障のない範囲にしましょう。  
 (3) 錦オールは服装を選択することができる日です。髪やアクセサリ類については普段の学校生活と同様とします



提案

- ・錦オールの日を2日（火曜日と水曜日）に増やします。服装を通して、自己表現の機会を増やす。
- ・錦オールの際のアクセサリ類の着用については、紛失等のトラブル防止の観点から禁止とします。

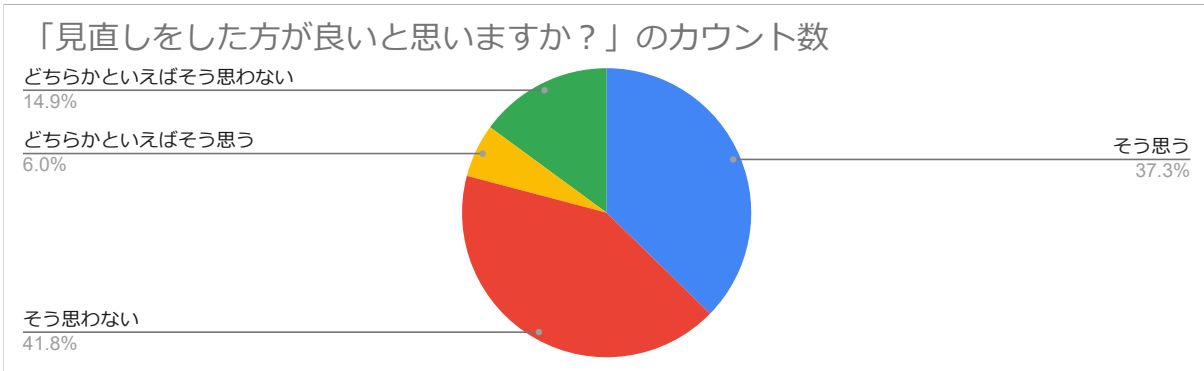
1. 現在のルール

(1) 他の教室への出入りは禁止です。他学年フロアへの行き来も原則禁止です。部活動などで連絡が必要な場合は用事を済ませた後はすぐに自分の学年フロアに戻りましょう。

2. このルールができた背景（各クラスで話し合った内容）

- ・紛失物を防止するため
- ・通行の邪魔になってしまうから
- ・通行人同士で衝突する危険があるから
- ・他学年間でのトラブルが起こるかもしれないから

3. 現在のルールを見直すことについてのアンケート結果（生徒）



4. 主な意見

見直しをするべき	見直しは必要ない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出たときのために色々な人と交流をする必要があると思うから</li> <li>・他学年との交流の場が少ないと思ったから</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下や階段の混雑を避けられないと思うから</li> <li>・学年間でのトラブルが起こる可能性があるから</li> </ul>

5. プロジェクトチーム（生徒）からの提案。

現在のルール

(1) 他の教室への出入りは禁止です。他学年フロアへの行き来も原則禁止です。部活動などで連絡が必要な場合は用事を済ませた後はすぐに自分の学年フロアに戻りましょう。



提案

- ・交流の場（校庭や玄関前ホール）を設け、昼休み限定で交流場を活用する
- ・他教室や他学年フロアの移動は盗難などのトラブルを防ぐため、原則禁止のまま変更しない。